海外市場に対応する為の実務セミナー

〈テーマ〉	広島開催	福岡開催
①「使用説明の国際規格 IEC 82079.1-2012への対応」	8月19日(水)	8月20日(木)
②「商品表示に関する言語展開のポイント」	10月15日(木)	10月16日(金)
③「使用説明の中国GB規格対応」	1月21日(木)	1月22日(金)

会場 〔広島〕ホテル広島ガーデンパレス　〔福岡〕JR博多シティ

主催 日刊工業新聞社　 株式会社ダイテック　 各会場とも 13時30分～16時00分

 各テーマ**16,200円**（税込）　**お得割引** 全3テーマ一括申込みで**37,800円**（税込）

広島会場

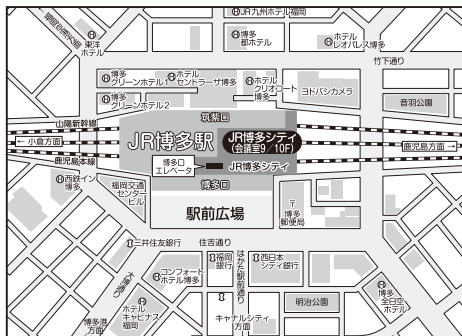
ホテル広島ガーデンパレス

① 8月19日(水) 朱鷺　（2階）
②10月15日(木) 華　（2階）
③ 1月21日(木) 華　（2階）

広島県広島市東区光町1－15－21
（JR広島駅新幹線口より徒歩5分）

福岡会場

JR博多シティ会議室

① 8月20日(木) 大会議室C　（10階）
②10月16日(金) 会議室2　（9階）
③ 1月22日(金) 会議室2　（9階）

福岡市博多区博多駅中央街1番1号
（JR博多駅直結 博多口エレベーターより）

●申込方法

お申し込みはWeb
(http://www.nikkan.co.jp/edu/semi/top.html)
かFAXまたは郵送にて受け付けております。申込受付後、受講票と請求書をお送りいたします。受講料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの受講料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担ください。

口座名義　㈱日刊工業新聞社

銀行	支店	種別	番号
りそな銀行	東京営業部	当座	656007
三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
みずほ銀行	九段支店	当座	21049
三菱東京UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先

日刊工業新聞社 業務局 業務推進部 技術セミナー係
〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1
（住生日本橋小網町ビル）
TEL 03(5644)7222　FAX 03(5644)7215
e-mail：j-seminar@media.nikkan.co.jp

キリトリセン

申込欄　海外市場に対応する為の実務セミナー　お申し込みは FAX 03-5644-7215

お申し込みの□に✓してください				
広島会場 ①8/19 □	②10/15 □	③1/21 □ (各16,200円※税込)	全3テーマ一括 □ (37,800円※税込)
福岡会場 ①8/20 □	②10/16 □	③1/22 □ (各16,200円※税込)	全3テーマ一括 □ (37,800円※税込)

会社名		業種	
氏名	フリガナ　部署・役職	TEL	
所在地	〒	FAX	
E-mail：		※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックをしてください。	□

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社および株式会社ダイテックが細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター　情報事業部　nkmail01@nikkansc.co.jp

①「使用説明の国際規格　IEC 82079.1-2012への対応」　山口　純治 氏

製品の取扱説明書は、使用者の安全および権益を守るための重要なツールのひとつです。多くの法令で使用説明に関する要求が明記されており、使用説明に関する国際規格が制定されています。使用者の安全、健康、そして環境への配慮、およびグローバル市場における企業間での公平な競争基盤を構築するためには、使用説明に関する国際規格の順守が求められます。
本テーマでは、使用説明に関する国際規格の要求に対応するための考え方と具体的なアクションについて解説します。

②「商品表示に関する言語展開のポイント」

～言語対応におけるリスクマネジメントをローカライズのプロが公開！～　柿木　博美 氏

1. 最低限知っておくべき言語対応の原則
- 国際ルールにおける使用説明の位置づけ　・言語対応に潜むリスクを把握する
- 「英語から各国語展開」が鉄則　・誤訳によるリスク低減のポイント
- ローカライズを翻訳と捉えると痛い目を見る
- 誰のための商品か？　使用者、使用条件、使用環境の違いを把握する
- 各国法規と規格対応ー販売中止、訴訟リスクを低減

2. 翻訳会社に依頼するときの注意点と言語対応マネジメント
- 翻訳会社に丸投げした結果、こんなことに‥　・翻訳ポリシーの決定とその進め方のコツ
- 翻訳会社・訳者選定のコツ　こんな翻訳会社には気を付けて！
- 商品の販促情報から販売後の情報までの用語等の全社統制管理のコツ
- 用語集の作成（用語統一）と品質保持のポイント　・よくある間違い ― 不具合事例

3. 最後の砦、翻訳戻り後のチェック
- 品質保持プロセスを構築する際のコツ　・システムや翻訳メモリーの構築と全社活用のポイント

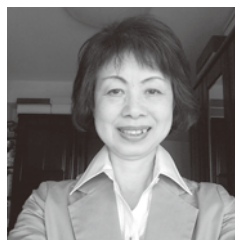
日本は、その優れた商品を海外市場に輸出する「ものづくり国家」です。多くの国では、商品の説明書は流通する国の言語で提供することを法律で義務づけています。商品説明には、製造物責任法、消費者保護法、リサイクル法などへの遵守が必要です。また2012年に使用説明に関する国際規格が改定され、各国独自の規格や規定、指令への適合、加えて環境への配慮や商品の含有物への規制なども求められています。
本テーマでは、講師自身が長年携わってきた家電メーカー商品（通信関係商品）の説明書作成（言語展開）ノウハウと共に、海外事業展開リスクを軽減するために最低限押さえておきたいポイントをわかりやすく解説します。

③「使用説明の中国GB規格対応」　山口　純治 氏

製品の取扱説明書は、使用者の安全および権益を守るための重要なツールのひとつです。中国でも複数の法令で使用説明に関する要求が明記されており、使用説明に関する標準規格（GB規格）が制定されています。中国におけるGB規格には強制力があり、この規格に合格しない場合は製造および販売の停止が命じられ、製造・販売した製品は没収されるなどの罰則があります。実際に、通関の検査や抜き打ち検査で使用説明の不合格が発覚し、企業名ともども公表されるケースも少なくありません。
本テーマでは、使用説明に関するGB規格の要求に対応するための考え方と具体的なアクションについて解説します。

講　師

山口　純治（やまぐち　じゅんじ）
株式会社ダイテック
コミュニケーションデザイン事業部　事業部長
コミュニケーション設計コンサルタント
セミナー講師

製品マニュアル、商品プロモーション、ブランディング、販売店や社員トレーニングなど、さまざまな情報伝達シーンで、最適なコミュニケーションを設計するコンサルタントとして幅広く活躍。各種セミナー、トレーニング、コンサルティングなどを多くの企業に提供している。特に、法規および国際規格に照らし合わせた製品の使用説明（カタログ、ラベル、マニュアル）の診断、指導、コンサルティングでの豊富な実績がある。

柿木　博美（かきのき　ひろみ）
株式会社ダイテック
OA・IT事業部

短大卒業後、損保会社勤務、学習塾講師（英語・数学）を経て、1997年より現職。英文テクニカルライティングおよびローカライズ（多言語展開）のコーディネーション／ディレクションに従事し、大手家電製品メーカーなどの取扱説明書の英文ライティングと各国へのローカライズ業務において、豊富な経験を有する多言語展開のスペシャリスト。